

# 県議会 2月定例会開会

# 2012年の県予算は？



2012年2月26日  
-18号

発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺 ゆり子

<連絡先>  
県議会共産党執行部室  
電話 023-630-3241(受付)  
自宅 山形市青田2-10-15  
電話 023-642-2365

県議会2月定例会が20日、開会し、知事提案説明が行われました。それに先立って14日には議会に今年度の補正予算と新年度当初予算の内容が行われました。



新年度予算案は総額614.7億2300万円となっており、4年連続の増です。日本共産党として予算要望を行い、一定反映された主な項目などをあげてみます。

- 子どもの医療費に対する助成
- 対象年齢拡大にはなりませんでしたが所得制限を撤廃することになりました。
- 中央児童相談所一時保護所など
- 改築のための費用

**予算特別委員会で質問します**

県議会定例会の会期は、3月16日までです。  
私・渡辺ゆり子は、**3月12日午前11時過ぎから**、予算特別委員会で約70分間、質問に立つ予定です。

- が予算化されました
- 私立高校への助成**  
一般補助金を拡充（公立高校を基礎とした算定方法で補助率47%から48・5%へ引き上げ）
- 農林水産業オーダ―**  
XET型支援
- 授業料軽減のための助成は今年度同様を維持します。
- 授業者軽減のため
- 減のための助成
- 高藤前県政の時に打ち切りとなりましたが、新年度復活します。
- 住宅リフォーム助成**  
ほぼ今年度と同様の内容を維持
- 合併処理浄化槽設置**  
に関する住民負担軽減
- 高藤前県政の時に打ち切りとなりましたが、新年度復活します。
- 学童保育について**  
要望が強かった低所得世帯に対する利用料金助成が予算化



**2面**  
豪雪対策を県に要請  
「卒原発」講演会に参加

雇用対策としては、やまがた新雇用安定プロジェクトとして産業振興を図りながら安定雇用を目指すとしています。

国の雇用創出に關わる交付金活用事業は66億9500万円、そのうち21億7000万円は市町村に対する助成です。

**有機EL関連、先端研支援、最上小国川ダム関連など問題も**

有機EL関連、先端研支援、最上小国川ダム関連など問題も

有機EL関連、先端研支援、最上小国川ダム建設については、新年度約5億7200万円が計上されています。

また、放課後児童クラブの民間施設の

耐震化補助も計上されました。

**注目の再生可能エネルギー政策**

党として要望し、吉村知事も、卒原発に

その他、県独自に新雇用創出産業対策特別基金40億円を積み立て、新年度は9事業、約21億5000万円を活用するとしています。



# 災害救助法適用を

## 共産党豪雪対策本部が県に要請



県に要望する(左から)ゆり子衆議、太田参院候補、石川家院1区候補

### 県当局

「なるべく早く基準をつくつていきたい」

13日、豪雪対策を吉村英知事知事に要請し、災害救助法適用を求めました。

共産党山形県委員会豪雪対策本部として要請し、太田俊男本部長(参院選挙区候補)、石川涉衆院山形1区候補、県内市町議員らとともに、私も副本部長として参加しました。

要請は、除排雪に必要な重機とオペレーターの確保、災害救助法の適用、通学路の安全確保、農道の除排雪、福祉灯油の実施、など12項目です。災害救助法について、新潟県は独自に過去30

年間の平均最大積雪深の1.2倍という適用基準を設け(国基準は1.3倍)、市町村に雪下ろしの費用の一部を県が負担しています。山形県でも災害救助法の適用基準を定めることとの要請に対し、飯野正博(危機管理課長)は「なるべく早く基準をつくつていきたい」と答えました。

また、雪下ろしなどで亡くなった方へ、災害弔慰金を支給することを求めたのに対し、「今冬は災害救助法適用が3県となって、基準を起しているので支給することができると答えました。農業被害への支援については、昨年実施した豪雪対策事業の今年度実施について「検討中」とし、特別交付税について、1月と2月に国に要望したが、今後も状況によって要望すると述べました。

### ゆり子の視点

16日、安斎清一郎氏による「どうする日本の原発政策 正しく知る」放射能汚染と健康被害の講演会に参加しました。

安斎氏は、放射能汚染について、わかりやすく、ユーモアを交えながら、過度に恐れず、事態を侮らさず、理性的に怖がる。



を強調して語りました。また、「当初、事故当事者に、隠すな、ウソつくな、故意に過小評価するな」と

### 「卒原発」 広める講演会に参加

指摘したが、これは現在もこれからも大事な点、みんなで言い続けよう」との話には、多くの参加者がうなずいていました。

感動したのは、その生き方、科学者としての良心です。「原子力ムラ」に入ることを拒否し、研究者として差別され弾圧された中でも、断固として原発反対を貫き、周囲に大きな影響を与えてきた存在です。

### 介護職員の夜勤研修を支援

山形県社会保険推進協議会は17日、吉村知事に対し、国保資格証明書を発行しないことや介護問題など、社会保障の充実を求める要請書を提出し、私も同席しました。

分野14項目です。吉村知事は、「介護職員定着のため、新年度予算で新人介護職員の夜勤研修支援に助成の

### 社保協の要請に知事が表明



吉村知事(左端)への要望に同席

### 保育・介護制度充実を

福祉保育労組の要請に同席

全国福祉保育労組 山形県支部は8日、保育・介護など福祉の充実を県知事に求める要請書(7部 門)23項目を提出。関係課長らと意見を交わしました。私も同席しました。



参加者は、「子ども、子育て新システム」に反対し、認可保育所の増設や公的責任を順守した現行制度を守る、保育料の保護者負担軽減のための取り組みへの支援を拡充することを国にはたかさけるよう求めました。